

プロジェクトを行う最初の期でした。当時、株式会社 OnLine として、精一杯やりましたが、あまりうまくいなくて、受講生から、かなり不満が出ました。この 4 期があったからこそ、さらに飛躍していかないとけないというキッカケになった期でもあったんです。あとは、コロナですね。コロナは株式会社 OnLine にとっては、大打撃でした。当時は WEB セミナーをして成功しているところは少なかったし、ノウハウも何もない。本当に、今考えても危ない状況だったことは間違いないですね。

ただ、僕にとっては、大きなチャレンジだし、燃えましたね。情報が全くなかったからこそ、0 から全部構築して、チャレンジする。これこそ、僕の好きなことで、未来を創っているという実感がありました。

株式会社 OnLine の頭脳として活躍している 野下さんの頭の中を知りたい！

— 新しい仕組み作りをしているイメージがとても強いのですが、どうやっていますか？ —

イメージとしては、パズルを組み立てているのと一緒かな。最初に「こうなったらいいな」という絵を描いて、そこに必要なピースを揃える。そのピースを揃えるために、色々と試

行錯誤しながら仕組み作りをしています。

— 仕組み作りのモチベーションを教えてください —

基本は、みんなが成長してくれること。みんなの成長をみるのが好きですし、楽しい。それぞれが、「自己受容感」を感じていることが嬉しい。「役に立っている」という状態が無茶苦茶最高なんです。

野下さんから見て株式会社 OnLine を どんな会社になりたいですか。

経営者としては、みんなが一流であること。両者が雇用の関係じゃなく、対等な関係がめっちゃくちゃ理想かな。それに僕は、一流の人に囲まれたいんだと思います。一流の人が仲間だったら、最高ですからね。

また、人が育つために心がけていることが一つあります。それは、「自分がなんでもやらない」ということ。人は、やらないと成長しないこともわかっているし、多くの人は、成長することで、「自己受容感」を満たすことができると、僕は感じているからです。

それと、人にはそれぞれ発揮できる「リーダーシップ」があり、各々が活躍する場面や商品をしっかりと作って、各自がリーダーとして活躍できる会社になりたいです。

号外! マーケティング業界で暴れ回るクマを捕獲しました!

10 月からジョイントした「熊本ベアー・ザ啓介」が株式会社 OnLine で暴れ回ってます (笑)。

ジョイントして初月から月額 5,000 円のサロンを経費数万円で 250 名に販売し、さらに「じぶんブランド革命プロジェクト!」29 期でも独自のルートで集客を続けています。

彼が株式会社 OnLine に持ち込んだマーケティング手法は、これからフリーランスで活動を考えている人にとってかなり有益になります。そのうち「貸し出し予定」ですので、まずは彼の生態を理解しておいてください。

生態・習性

飛び込み営業から WEB マーケティングまで経験している。ものを売ることしか考えていない。

体長

136cm
身長は 176cm あるよ

たべもの

カフェイン、ニコチン、アルコール



初めまして、**熊本ベアー・ザ啓介**です。
変な名前ですみません、社長につけられました。
変な名前をつけられながら株式会社 OnLine で日々奮闘しております。
僕は、『ものを売る能力』を買われてジョイントすることになりました。
ですので今は、『株式会社 OnLine の財布にいくら“ぶっ込

むか?』ということだけを四六時中、考えて生きています。
執着とって良いほど売上や利益にコミットしています。
なぜそこまで売上や利益に執着しているのか?

その理由はシンプルで、お金がいっぱいある企業の方が魅力的だと考えるからになります。それはその会社で“働く人”にとっても、その会社が提供する商品を“購入するユーザー”にとっても、魅力的なものになります。

前職で私は、「会社の倒産」を経験しております。倒産間際の会社は見えていられないものがあります。

→ “その会社で働く人”もお金がないから低賃金になっていく

→ その会社はお金がないから商品、サービスが悪くなる
その結果、倒産への道が加速する、...

“スラム街”で買った商品でその商品価格以上の価値を得られるとは思えないですね? なので誰も“スラム街”みたいな会社からは商品を買わないのです。

その倒産を「会社のせい」と片付けるのは、簡単なのですが、マーケターを名乗っている限り、会社の金銭事情が芳しくないのは、マーケターである「自分の責任」が大きいと考えています。

さて、今後、必ずみなさまの前にも現れることになります。その際は、「あなた」の財布にいくらぶっ込むか? を常に考えますので、お楽しみに。